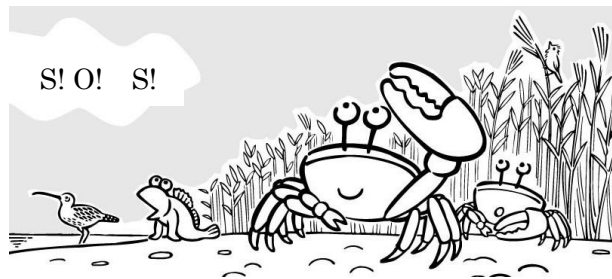


とくしま自然観察の会  
しおまねき通信号外 20190820  
<http://www.shiomaneki.net>  
[kansatsunokai@gmail.com](mailto:kansatsunokai@gmail.com)



台風 10 号によって令和初の阿波踊りが 2 日間中止

になりました。吉野川河口の干潟では大量の漂着ゴミが集まり、吉野川河口の中で一番のシオマネキ群生地が脅かされています。

このままでは、シオマネキなど様々な干潟の生物が集まる良好な生息環境が失われてしまいます。

今まで、台風のために何度も何度も多くの人々の力と想いで、ゴミを撤去し、吉野川干潟の生物の生息環境が守られてきました。ひとりでも多くのご参加が必要です。

吉野川河口住吉干潟 クリーンアップ参加大募集！！

みなでシオマネキ救おう！！ (台風 10 号ミッション 1)

- 日時：2019 年 8 月 25 日 (日) 10:00~11:30 少雨決行
- 場所：吉野川河口住吉干潟\* (徳島市住吉 4・南岸グランド東詰)
- 主催：とくしま自然観察の会 & 吉野川ひがたファンクラブ
- 参加無料
- 持ち物：長靴 (厚底のがよいです)、厚手の手袋、あれば掃除用具、よごれてもよい長袖服装、帽子、タオル、各自飲み物、雨具
- 問合せ先:とくしま自然観察の会 088-623-6783・[kansatsunokai@gmail.com](mailto:kansatsunokai@gmail.com)



2019 年 8 月 16 日 台風 10 号通過住吉干潟



2019 年 8 月 12 日 台風前の住吉干潟  
シオマネキたちの良好な餌場になっている。

吉野川河口の住吉干潟は、シオマネキたちにとって餌場となる、良質のドロ干潟になっているので、生息密度が一番多い場所です。シオマネキは、河川的环境が健全であることの指標生物と云われています。また、ここは、シオマネキだけではなく、トビハゼ、ハクセンシオマネキ、フトヘナタリなど各地の河口の干潟で姿を消しつつある多種多様な生物の良好な生息場所になっています。そんな場所に、大量のヨシ片や流木がふたをしているような状態。このままだと、貧酸素状態や、富栄養によるヘドロ化をまねき、シオマネキや干潟環境が喪失します。さらに、生物の生息環境の問題にとどまらず、大量の流木を含むゴミは、護岸をいため、流出して、川や海の網を

破るなど漁業被害をおこすことも心配されます。

毎年、大型化する台風は大量の漂着ゴミを運び、そのたびに市民に呼びかけてクリーンアップしてきましたが、将来にわたって、シオマネキたちの生息環境を守り、吉野川河口の干潟を保全していくことが重要だと考えています。そのためには、ひとりでも多くの方に関心を持っていただき、クリーンアップに参加していただきたくことを期待しています。

ちなみに、昨年の台風によって運ばれてきたゴミは、昨年からの7月まで10回以上のクリーンアップによって、ヨシ原がよみがえり、ドロ干潟には、シオマネキたちの姿が戻ってきています。

海ゴミは最近注目され、環境省等による予算の枠組みができてきたようですが、河川にはまだ仕組みがないようです。なので、こういうふうに、市民の手によって、保全していくひとの輪を広げていきたいと思います。個人、会社、ひとりでも多くの方のご参加をお待ちしています。



2019年3月20日撮影 2018年の台風ゴミが残ったまま、ヨシ原を倒して、ドロ干潟がみえない状態

2019年8月12日撮影 ヨシ原がよみがえり、ドロ干潟に光が届き、多様な干潟の生物が戻っている。



2019年4月14日撮影 手作業で、流木などを運ぶ干潟のクリーンアップ風景、2トントラック約3台分のゴミ

2019年8月12日撮影 よみがえった干潟にシオマネキが巣をつくり、生息できている。